

とよおかし 議会だより



第 62 号

平成29年8月発行



ヤナギ ユカタ ゲタ
Yanagi, Yukata and Geta...イイネ!!
(外国人にも人気の城崎温泉)

も
く
じ

6月定例会の報告.....	2~3
一般質問に18名	4~12
意見書・請願・陳情.....	13
委員会からの報告.....	14~17
3月定例会の委員会意見と当局回答.....	18~19
9月定例会の予定ほか.....	20

編集 / 議会広報特別委員会 発行 / 豊岡市議会

URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

〒668-8666

豊岡市中央町2-4

E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp

TEL 0796-23-1119

FAX 0796-24-8041

国民健康保険税条例

改正案など賛成多数で可決

医療費の伸びを見込み、1人当たり税額は11万2,544円

6月定例会市議会を、6月2日から28日まで27日間の会期で開催しました。

定例会では、一般会計補正予算など専決処分を行ったことの報告のほか、工事請負契約の締結や条例の一部改正、一般会計補正予算など25件の議案について、各委員会でも審査を行った後、本会議でいずれも原案のとおり承認・可決しました。人事案件1件は、本会議で同意、「豊岡市基本構想の策定について」は継続審査としました。

また、委員会提出議案1件は可決、意見書2件および請願2件は採択しましたが、陳情2件については不採択としました。

賛否が分かれた議案

次の議案について、反対、賛成の討論がありました。したが、表決の結果、いずれも原案可決となりました。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

29年度の1人当たりの医療費の伸びを4・4%と見込み、急激な国保税増加の緩和を図るため、前年度繰越金の2分の1相当額1億5千万円を活用するとともに、国保財政調整基金（以下「基金」という。）1億円を取り崩し、1人当たりの国

国保加入者は所得が低く経済的にも弱い市民が多く、引き上げをしない提案をするべき。

さらに、29年度末に大きな赤字が予想され、基金は大きく残ることを見込んでいたのではないかと。なぜなら、国保会計の基金は県に持参する筋合いのものではなく、基金が増え残ることを考慮したのではないかと考えられる。昨年度大幅に引き上げており、28年度は赤字分すべてを国保税に回し国保加入者の負担を軽減するべきと考え提案に反対する。

反対討論（要旨）

● 今回の改正について29年度は、1人当たり2・6%増の11万2544円、金額にして2749円の引き上げ、28年度の9・8%増、金額にして9809円の大幅引き上げ、合わせると1万2558円の引き上げになる。3億円の赤字のうち1億5千万円と基金1億円を取り崩して国保税の減税にすると説明があったが、

賛成討論（要旨）

● 医療費は増加傾向にあり、国保財政の健全な運営が今以上に重要となる。前年度繰越金の2分の1相当額1億5千万円に加え、基金から1億円が充たされ、対前年度比2・6%増の11万2544円となった。国保税は医療分に相当する基礎課税分だけでなく、後期高齢者支援金等課税分並

びに介護納付金課税分の財源になる。国保税として、軽減策をとらなかつた場合は、対28年度14・69%、1万6339増の12万6134円となる見込み。この案は、豊岡市国民健康保険運営協議会の答申を尊重したものである。30年度から実施される^{*}県単位化に向けて、さらなる計画的な運用と医療費の適正化に努め、国保財政の健全な運営を求めて賛成する。

（会派…かがやき議員）

29年度国保会計（事業勘定）補正予算

1人当たりの国保税額を11万2544円と見込んだ上で、基金1億円、前年度繰越金1億5千万円を追加するなど、補正後の予算総額を112億5702万6千円とするもの。

反対討論（要旨）

● 国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の反対討論の内容と同様であり、反対する。

（会派…共産党おおぞら議員）

賛成討論（要旨）

● 国保税の税率算定に当たっては、社会情勢を考慮し、中長期的な視野に立った基金の運用がされており、適切な予算である。国民健康保険は、被保険者の全体の相互扶助で成り立つ社会保障制度であり、今後も収納率の向上と、医療費の適正化対策、基金の計画的な活用を努めることを要望し賛成する。

（会派…かがやき議員）

旬な解説

※国民健康保険制度改革（県単位化）とは

現在市町村が運営する国保制度は、医療費の増加により全国的に財政が脆弱化している。そのため30年度から都道府県も保険者となり、広域化・財政基盤の拡大を図り、制度の安定化を目指すこととなった。医療に係る給付費用は兵庫県が支払い、本市は県が決定する納付金を支払うこととなる。なお、その財源となる国保税の賦課徴収や資格管理、保健事業などは本市が引き続き担うこととなっている。



一般質問のようす

可決したその他の議案

消防ポンプ自動車の購入

市内消防団に配備する消防ポンプ自動車3台と

小型動力ポンプ2台、また出石分署に配備する消防ポンプ自動車及び積載資機材を吉谷機械製作所から購入しようとするもの。

小中学校教育用情報機器の購入

市役所及び小学校10校で使用するサーバ2台、タブレット122台、パソコン教室用パソコン99台、校務用パソコン159台を豊岡市(株)コラポラから購入しようとするもの。

報告第11号「豊岡まちづくり株式会社」、第12号「一般社団法人豊岡観光イノベーション」、第13号「株式会社日高振興公社」、第14号「株式会社シルク温泉やまびこ」、それぞれの決算及び次期事業計画に関する報告に対し異議なく了承すべきものとした。なお、委員

会意見を付すことに決定した。

豊岡まちづくり株式会社については、アルチザン事業が目指す靚を核とするまちづくりに好影響をもたらしている。人手不足解消のため人材育成の強化、観光地との連携インターネット販売業務の本格的立ち上げによる経営改善をさらに進められたい。

一般社団法人豊岡観光イノベーションについては、初年度の赤字に続き次年度も赤字を前提にした予算となっている。補助金ありきの事業は民間法人ではありえず、事業目的の達成と法人運営の健全化に一層努力されたい。

株式会社日高振興公社については、神鍋温泉ゆとろぎの熱源について安定性、採算性の面からペレット利用からガス利用へ移行してきている。CO₂対策、環境対策の観点より改めてペレット

の利活用について検討を行われたい。

株式会社シルク温泉やまびこについては、宿泊部門のリニューアルによる効果は出てきているが、年間を通じた利用者の確保に向け対策を講じられたい。

29年度6月補正予算の主要事業

除雪機緊急整備事業補助金 補正予算額2千万円

区や地域コミュニティ組織が共助により市道、生活道路等の除雪を行うために購入する除雪機について購入経費の一部を補助するもの。(24年々27年度の制度の復活)
ポート競技合宿誘致 補正予算額140万円

2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるポート競技について、フランスチームの強化事前合宿の誘致のために、9月24日からアメリカで開催される世界選手権に市長が出席し、フランスチーム関係者に、誘致に向けての交渉を行うもの。

本会議での各議員の賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。

賛成は○、反対は×。棄権、除斥等は「—」。議長は採決に合わないので「/」で表示しています。

意見が分かれた議案の賛否一覧表

議員名	青山 憲司	浅田 徹	伊賀 央	井垣 文博	伊藤 仁	井上 正治	上田 伴子	上田 倫久	奥村 忠俊	関貫久仁郎	木谷 敏勝	嶋崎 宏之	竹中 理	田中藤一郎	椿野 仁司	西田 真	野口 逸敏	広川 善徳	福田 嗣久	前野 文孝	升田 勝義	松井 正志	村岡 峰男	審議結果
豊岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	可決
平成29年度豊岡市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	可決
平成28年陳情第2号 日高医療センター問題に関する陳情書	×	×	—	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	○	不採

市政を問う

一般質問



関貴久仁郎 議員
(かがやき)

遠いようで よう行かんわ

問 参加者の少ない市民懇談会、市と遠くなった距離感。29か所のコミュニティセンター単位での開催はできないか

答 平成18年の懇談会参加者は474人、今回は257人と減っているが、実感として大体こんなものと思う。基本構想という抽象的な議論、事の性格上仕方ない。また多忙で、29か所のコミュニティ単位では現実的にできない。

問 市域が広がったことが合併後の最大のデメリットと思う。市との距離感が遠くなった。答弁では、今はこうなったから仕方ないとか聞こえない。多くの市民に内容を伝えてほしいが、本当に無理なのか

答 審議会で市民委員の意見も多く聞いている。

帳面消しではなく 市民に寄り添った行動を！

成案をどのように伝えていくかを十分に考えるが、個別の説明会開催は考えていない。

教職員の過剰労働

問 本市の教員労働時間の実態、また過剰労働時間対策はどのようなのか

答 週当たり、小学校12時間50分、中学校17時間ほどの残業である。県教

委推奨の勤務時間適正化推進プラン等を積極的に活用しているが、最大要因は児童生徒指導である。専門員を増員し教職員の支援を行っている。

法令遵守・寄り添う時間へ傾注

問 文科省の報告で、給食費の公会計化で教員の負担軽減が図れる、と給食費公会計化



どうしたら、大勢の人に？

を指摘。子どものための時間を増やし、教育に専念するために必要と思われるが、本市の実施状況はどうか

答 実施には予算が必要で、一部折衷案のような私会計的なものを使っている。



伊藤 仁 議員
(とよおか市民クラブ)

敬老会補助金の廃止！

問 廃止の提案をされ、3か月が経過している

が、30年度からの廃止の考えに変わりはないのか

答 3月議会で説明したとおり、29年度限りで廃止する考えに変更はない。

問 補助金をもとに敬老会が実施され、年に一度とはいえ、楽しみにされている。担当課として敬老会開催事業をどのように評価しているのか、また廃止の方針に対する高齢者や地区の反応はどうか

答 地区で工夫を凝らし、高齢者の方の生きがいになったり、明日への活力により成果が出ることにより認められる。ただ、一日のために2200万円を使うのか、限られた財源をより効果的に使うという道を探ることをしなくないのか、このような観点から、今回の見直しに至ったものである。

問 使い道が全く決まっていない中で、廃止を前提とせず敬老会などで高齢者福祉や、コミュニティに目的交付金として渡すべきだと思いが

答 各コミュニティへの交付金として使うことも選択肢の一つ。市の施策として使うことも全く否定はしない。地区の状況はさまざま、現時点で高齢者福祉に限定してしまうのがいいのか、もう少しそこはやりわらかさを持たせたほうがいいのか、仮にコミュニティに交付金を出す場合でもその点は慎重に議論し、検討していく。

共感は得られてませんよ

祝 敬老会



来年も会いたいな…

市政を問う



上田 伴子 議員
(日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団)

市民の声を大切に 市政運営を

敬老会への補助金 廃止の撤回を

問 敬老会の補助金がなくなれば、敬老会の開催ができなくなるとの声を聞く。市民との対話と共感の上で結論を出して欲しいがどうか

答 高齢者の意見を聞くべきだとは思いますが、2000万円の使い道については、地域のコミュニティ組織に交付金として交付するなどを検討している。

問 28年度は323行政区で敬老会を開催している。一年に一度の敬老会が高齢者の元気の元になっている。市長の頭の中にもっと市民から出た意見を入れてもらいたいと思うがどうか

答 一年に一度楽しくても次の日には忘れられている。各コミュニティセンター内には県民交流広



高齢者の声を聞いてほしい

場があり、年間を通してさまざまな楽しみ方にも使ってもらいたい。

地域コミュニティのスタートは！

問 29年度4月よりスタートして、公民館が廃止された。地域に丸投げされたと受け止めている市民も多い。スタートしたので、今までの公民館よ

り、一歩進んで地域の活性化を図らねばならない。コミュニティの運営には財源と人材が必要だが、十分に配分されているか。また、36年度からの指定管理制度への見直しはどうか

答 コミュニティ組織立ち上げに携われた人たちに敬意を表する。交付金は人口割と均等割にしたが、組織の基礎的な部分を支える意味で、均等割を多くした。できる限りあり方方針に沿って、10年後指定管理にするが、軌道修正があるかもわからない。



西田 真 議員
(ひかり)

手話ハンドブック導入等 障害者福祉の充実を

手話ハンドブック導入

問 小中学校で、障害者や高齢者福祉の理解を深めるための総合学習として、手話教育を広めてはどうか。他の自治体では、手話ハンドブックを作り、学校で活用するなど、先進的な取り組みをしている所もある。本市としても導入してはどうか

答 子どもたちが全ての人々と尊重し合い、心豊かに共生していこうという力をつけるためにも、今後、手話教室を含めた福祉教育の取組みが充実するよう、指導助言をして



手話ハンドブック〔入門編〕(鳥取県HPより引用)

交通事故防止対策

問 現在、城崎では観光客がとても多く、歩行者も車両も通行しにくい非常に危険な地藏湯前交差点の信号を、安全確保の

ために歩車分離式信号機に改良してはどうか

答 城崎地藏湯前交差点の歩車分離式信号機の導入は、警察に問い合わせたところ、歩行者の待機スペースがないため、現状では設置できないとの回答。要望については、今後も行いたい。

聴覚障害者向け119

問 インターネットを通じて、スマートフォン画面タッチで119番通報ができるシステムを導入する消防本部が増えている。聴覚や言語機能に障害のある人が素早く通報でき、位置情報も伝えられるのが利点だ。今後、導入の検討はどうか

答 システムについては承知している。今後、国の動向を注視し、必要に応じ導入の検討を行いたい。

市政を問う

一般質問



優しい社会を目指して



竹中 理 議員
(公明党豊岡市議員)

フードバンク事業で 市民参加運動を広げよう

問 まだ十分に食べられる食品が捨てられてしまいう食品ロスについて、行政も食品ロスゼロに向けて果敢に取り組むべきと国も訴えている。市も市民運動の意識向上を図る一つの方法として、未利用食品を生活困窮者や児童養護施設に届けるフードバンク事業の取組みを行ってほしい。その実施にどのような問題点があるか。市内に子ども食堂ができたとき聞き喜んでいますが、取組み状況と実施における問題点はあるか

答 日本では貧困世帯で暮らす17歳以下の子どもが6人に1人いる。生活再建に向かうためには必要な取組みと認識している。地域、市民全体で支える意識を高めて、市民から食料の寄付を募るといったフードバンク事業に8月頃を目途に取り組む。運営に当たり問題点は食料の継続的な調達、倉庫の確保、食料の消費期限の管理、支援の回数などの事前調整など。フードバンクの利用者には

食料の提供だけでなく、ライフラインの復旧といった金銭支援も必要。実施団体の社会福祉協議会では、現在7日間としているが、さらに支援期間の延長も検討している。子ども食堂の取組みは月2回、豊岡健康福祉センターの1階において第2・4木曜に開設している。引きこもりの方々の就労体験も兼ねてスタッフとして一緒に活動している。問題点は食料の調達に厳しいこと、生活困窮者への周知、継続のための市民や協力店からの食糧支援など。

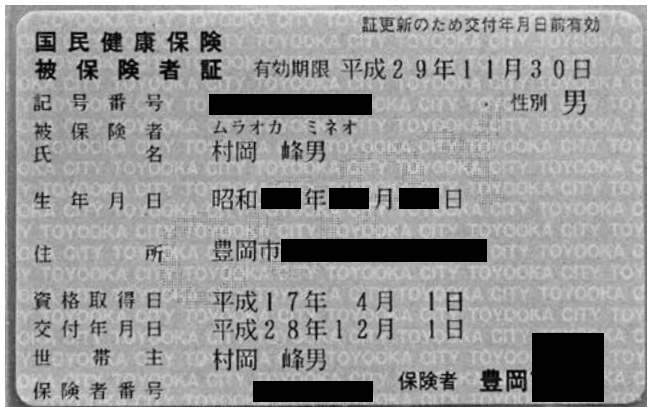
問 是非これを機会に市民活動がどんどん向上するようお願いしたいが

答 地域の市民全体で支えていく意識を高める狙いで社会福祉協議会を主体にフードバンク事業の8月頃の立ち上げに努めていきたい。



村岡 峰男 議員
(日本共産党・あおぞら豊岡市会議員)

国保税、また今年も 引き上げるのか



いのちと健康を守る証「国保証」

等により医療費は増加している。繰越金の活用や基金の取り崩しをしても、医療費の増加に見合う税率の引き上げはやむを得ない。

問 モデル世帯の税額の中で、200万円

答 3年後の市民の医療をどう守るかということだ。基金を多く取り崩すことは3年、4年目に医療制度そのものが存在、成立し得るのかどうか。医療制度が成立しないと、自分で医療費を払えるものしか医療を受けられないことになる。

対話と共感 は市民目線で

問 被保険者一人当たり2・6%の引き上げで11万2544円との提案だ。金額にして2749円が増額となる。昨年9809円の引き上げで、2年で1万2558円もの引き上げである。市民の所得が向上していない中で引き上げの見解は

答 近年、医療技術の高齢化、被保険者の高齢化の収入で3200円を引

問 運営協議会で意見はあった。しかし、基金の適正な額を残すことなど理解を得た。

答 被保険者の生活実態に寄り添っていただき

問 市長は、4期目の市政運営を対話と共感を基本に据えると言うが、共感より説得する目線にな

答 上から目線になるなという「いさめの言葉」と思い、反省も込めて貫いていきたい。

市政を問う



井上 正治 議員
(とよおか市民クラブ)

民泊について

問 国において「住宅宿泊事業法案」が審議成立の見込みだが、市の見解と今後の取組みは

答 特に家主不在型が、非常に大きな問題を秘めている。

国の観光の進むべき方向は、安売りでなく質の高いものを提供し、やりがいのある仕事を作る方向でなければいけない。城崎・竹野・神鍋の観光にとって、大打撃になる可能性がある。

生活環境の悪化、市の観光産業の現状と将来進むべき方向に照らしてみても、民泊はプラス要素が少ない。

法律が施行されると、法律の範囲内でしか対応できないので、県との協議・市独自でできることがないのか、検討を重ねている。

民泊への対応と環境への取組み

問 本市の民泊の現状は

環境への取組みについて

問 バイオマス構想における豊岡産ペレット製造量・使用量と赤字状況についてどうか

答 灯油化石燃料の価格の低下、温泉施設の入込み客の減少における経費削減によるペレットの使用控えによるものだ。

そういう状況で北但東部森林組合と市で経費削減等について点検・話し合いをしている。引き続き温泉施設にペレット



ペレットボイラー設置施設 (神鍋温泉ゆとろぎ)

使用の協力依頼を行っている。

問 太陽光発電設置における課題が見えつつあるかどうか

答 市の区域で市の景観条例を制定している。面積により事前協議と届け出をしていただく。農地転用、開発関係は別途の規制になるが、小規模なものについては難しい状況である。



井垣 文博 議員
(とよおか市民クラブ)

問 市民との対話、市民と共に創るまちをどのよう手法でつくるのか

答 対話と共感を基本に市民やさまざまな団体とのワークショップなどを通して共通の目標達成に向け議論し、協働の中で創り上げたい。

問 基本構想で目指すまちの将来像『小さな世界都市』は高齢者や障がい者にも居場所があり、生きがいを持って暮らすことのできる社会か

答 世界から尊敬され輝くためには、違いを認め、多様性を受け入れ、みんなで協働して結論を出していくというまちのあり様が必要だ。

問 市民からの声もあるが、いのちへの共感に満ちたまちづくり条例の理念を学校教育の中で取り上げるべきではないか

答 命を大切にすることは教育の一丁目一番地では

中貝市政4期目「対話と共感」の実現を



小さな世界都市へー子どもたちの英語教育ー

答 松島興治郎さんの功績を後世に引き継ぐものとして検討する。また、多くの方々の顕彰についても時期やタイミングを考えながら検討する。

問 朝鮮半島有事の際、市民の安全をどのように確保するのか、また、漁業への影響はどうか

ある。条例にルビが振ってあることは子どもたちへのメッセージであり、良い教材として検討する。

問 コウノトリの野外生息数が一〇〇羽を超えるのを機会に、コウノトリを大空に返すという約束を胸に献身的に貢献された関係者を顕彰し、その思いを後世に伝えていくことが必要ではないか

た、漁業への影響はどうか

答 弾道ミサイル情報については、全国瞬時警報システムが発動され、防災行政無線や緊急通報メーイルを通じて市民に伝える。初動時は市民自ら安全対策を取ってほしい。漁業への影響は計り知れず、関係機関と連絡を密にとって対応する。

市政を問う

一般質問



上田 倫久 議員
(かがやき)

犯罪のない安全・安心な地域づくり！

社会を明るくする運動！

問 本市では、どのように啓発し、行動をとっているのか

答 毎年7月の社会を明るくする運動の強調月間の初日には、豊岡保護区の保護司会の方と一緒に、街頭での広報パレードに市の幹部職員等も同行し、市民の皆さんへのキャンペーン等に取り組んでいる。また、広報車での広報活動等も行っ

ている。強調月間ということで市の広報紙、防災無線での放送、市庁舎前の懸垂幕の掲揚等の啓発に取り組んでいる。

問 「再犯の防止等の推進に関する法律」についてどう取り組むのか

答 再犯防止推進計画を踏まえて、地方の再犯防止推進計画を定めるよう努力義務が規定されている。国の計画の策定を受け、都道府県や市町村に対しての通達を確認し動きを見極め、対応を考える。確保の動向のニーズ調査、

専門職大学について

問 但馬・豊岡における専門職大学の位置づけと進捗状況は

答 専門職大学とは、大学と専門学校の両方の機能を兼ね備えた4年制大学になる。夏ごろに設置基準等が公表されるとい見込みであり、兵庫県で検討がなされる。本市では、高等教育機関の状況調査、学生確保の見通し、人材

文部科学省は、地域住民と学校が目標やビジョンを共有して、地域ととも

にある学校づくりを推進している。市内の現状を見てコミュニティスクールのような仕組みの必要性を感じている

か



松井 正志 議員
(とよか市民クラブ)

コミュニティスクール設置の必要性があるか



学校は、今でも多くのボランティアのみなさんに支えられています

問 評議員制度やボランティア制度を利用して、地域住民の参画による学校と地域が連携する仕組みがあり、多くの方に適切な支援をいただいている。コミュニティスクールには、学校運営の基本方針の承認、学校運営へ意見を述べるなどの条件があるが、教職員の任用

靴産業など市が支援する分野で起業があるか

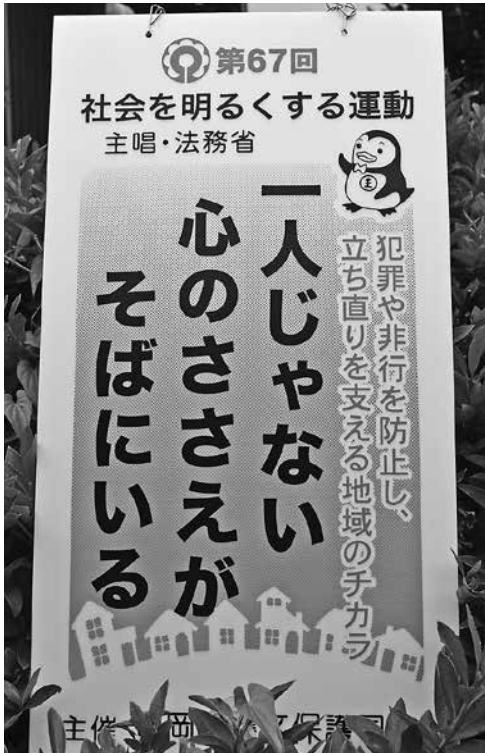
問 靴産業への支援、インバウンド対策、芸術活動、環境農業など、市が政策的に力を入れている

分野は、支援の効果が出て事業が活発化するに伴いビジネスチャンスが出てくる。市が積極的に支援している分野で、起業につながる事例があるか

答 起業は難しいが、個人の小さな起業やすでに事業を行っている人の新たな事業化はあり得る。城崎で外国人に対応して事業を起した人もいる。市内のホテル周辺で空き店舗を活用した飲食業や、カバンストリートで靴ショップや靴と合わせたカフェなどの事例もある。

問 コワーキングスペースの整備に伴い、どんなメリットが生じたか

答 靴協会はフロアの無償譲渡により、固定資産税や維持管理費の負担が無くなった。地場産業センターは貸事務所収入が得られる。豊岡DMOはスペースを利用する人とのつながりが生まれる。



犯罪のない安全・安心な社会の実現を！

専門職大学の設置、設置後の運営シミュレーション等を行う調査業務の委託事業者を募集し、6月中旬には事業者の選定を行う。

市政を問う



田中藤一郎 議員
(かがやき)

子育て支援対策はとつても重要だ

問 現在行われている子育て支援対策で、子育て世帯に対して十分な対策といえるのか

答 まだまだやるべきことはたくさんあるので、

ならず、命への共感、つまり男女が一生懸命「命」を育てている、そのことに共感を持ってなんとか応援しようという観点から、子育て支援というのはできる限りの充実を図りたい。また、現場の声を届け

なんといっても人口減少対策に全力を！

ただの対応をしたい。教育支援対策について

教育支援対策について

問 高等学校の通学費は、1人、1万5千円までだが、2人以上にもなると非常に大きな負担になる。今後の新しい試みとして軽減策は考えられないか

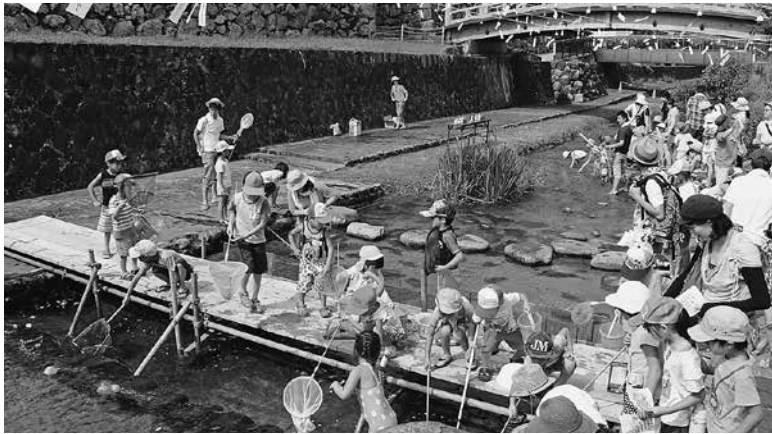
答 現在のところは、今の状態で進んでいくのが良いと考えている。

地域産業支援について

問 観光、インバウンド等、大きな強みとなり得る農産物の地産地消について、コウノトリ米以外の支援策についてはどうか

答 コウノトリの舞というような減農薬タイプの農産物を推奨しており、地産地消ということではないが、豊岡の農産物についてPRをしていきたい。

問 今後、本市として子育て支援策等があるのか



楽しい親子交流をこれからもずーっと！

答 人口減少対策という観点のみ



伊賀 央 議員
(みらい)

15年ぶりの新教育長 教育に懸ける思いは何か

問 市長として4年間の新任に、この先の社会的潮流をどう捉え、先を読むのか。さらに今後具

体化させる課題は何か

答 最大の潮流は人口減少だ。直近の分析で本市は女性に選ばれていない。若年とりわけ女性についてどう対応するか非常に重要で実現する可能性を探りたい。小さくてもいいのだと住む人々がどっしりした態度を持つ街を作りたい。その方向性や基礎を4年間で築きたい。

問 15年ぶりの新教育長就任にあたり鳴教育長は今後の豊岡の子どもたちの学びについてどんな観点から進めるのか

答 東井義雄先生は、子どもを感じ方、思い方、考え方は子どもの命のあらわれで、それらを粗末にして教育はできないと寄り添う教育の重要性を指摘した。この理念に基

づき施策を展開したい。一方で先を見据えた教育も必要で、ふるさと教育、コミュニケーション教育、英語教育を基軸とした豊かな教育。重要な施策だ。現場は多忙感を抱えたと思うが今年はやり切ることには徹したい。子どもが元気で子どもや先生も生き生きする教育環境に全力で取り組むたい。

問 経済的事情による子どもたちが経験すべき実体験の剥奪は子どもの育ち、気づきの観点から大いなる損失だ。先議会の問題提起後の検討状況は

答 本年度庁内連絡会議を開催し貧困対策の現状



何にもまして大切な子どもたちのさまざまな経験

や対応を協議している。子どもの就学率、高校の中退率など、貧困に対する指標に市の把握が可能か、困難な場合はそれにかかわる指標の有無の洗い出しを進める。実態調査が必要ならアンケート実施も検討する。今洗い出し作業を進めており実態把握を進めた上、必要な施策について検討したい。

市政を問う

一般質問



水害に備えて堤防のない神社の境内に置かれた土のう

土のうを設置した。市と
は 暫定対策として大型
土のうを設置した。市と

○ 7年確率、時間降雨
量44・1mmで、日高市街
地の内水氾濫状況のシミ
ュレーション解析を実施
した。浸水被害を解消、
軽減するための案の検討
および概算
費用の算出
を行い、今
後は実施可
能な対応に
ついて検討
する。
○ 一つの
案として日
置区の樋門
ですべての
内水を円山
川に排水す
る案がある
が、増水に

○ 企業間の連携も不十分だ。
但馬技術大学の役割は
非常に大きい。豊岡の
関係者がどのような支援
をして能力を上げていく
のか、企業や団体とどう
連携するのが課題だ。
○ プランの目標年次は
28年度だが進捗と事業評
価、検証状況はどうか
○ 策定中の基本構想や
県の但馬地域都市計画区
域マスタープランを踏ま
えて事業評価、検証を行
い次期プランを策定する。
○ 今年度、庁内策定委
員会等で検討し、原案を
作成する。その後、都市
計画審議会等の審議を経
て平成30年に策定予定だ。
○ 兵庫県CGハザード
マップでは、本市の13小
学校と6中学校の学校関
連施設が土砂災害警戒区
域に指定されている。具
体的な対応方針はどうか
○ 気象情報の発令や気
象状況に応じて安全確保
の観点から休校、授業の
短縮をしている。防災マ
ップを活用した防災教育
を行っていききたい。
○ ハード対策の認識は
どうか

○ 危険な道
路や箇所を子
どもたちが認
識することも
大事だ。土砂
災害が起きる
ようなときに
学校に来させ
ることはない。
○ 土砂災害は、いつ起
こるかわからない。行政
として危険箇所の早急な
対策は学校施設の安全管
理上必要だ。学校側は十
分認識されているか
○ 危険箇所は防災マッ
プで知らせている。
○ 各学校に簡易雨量計
は設置されているのか
○ 把握していない。
指定箇所の学校には

必ず雨量計の設置を望む。
また、防災担当の先生は
状況を認識されているか
○ 防災マップを渡して
いるので当然承知してい
ると思っている。
○ 子どもたちの学校・
園生活の安全確保をお願
いしたいがどうか
○ 各学校の危険度につ
いて徹底したい。

無堤防地域の治水
工事の早期完成を
問 市内には堤防のない
地域が存在する。命にか
かわる問題であり優先的
に取り組むべきだ。日高
町江原、宍田地区の築堤
工事は工期が大幅に遅れ
ているが、今後の見通し
は

○ その成果と課題につ
いて説明を求める
○ 7年確率、時間降雨
量44・1mmで、日高市街
地の内水氾濫状況のシミ
ュレーション解析を実施
した。浸水被害を解消、
軽減するための案の検討
および概算
費用の算出
を行い、今
後は実施可
能な対応に
ついて検討
する。
○ 一つの
案として日
置区の樋門
ですべての
内水を円山
川に排水す
る案がある
が、増水に

より樋門が閉じられたら、
日置区・日高区、最も標
高の低い鶴岡区に内水の
被害が予想される。上流
部のバイパスも継続して
検討すべきではないか
○ 下流域の費用対効果
も含めた中で検討をして
いきたい。
市内企業の育成へ
の課題は

○ 策定中の基本構想や
県の但馬地域都市計画区
域マスタープランを踏ま
えて事業評価、検証を行
い次期プランを策定する。
○ 今年度、庁内策定委
員会等で検討し、原案を
作成する。その後、都市
計画審議会等の審議を経
て平成30年に策定予定だ。
○ 兵庫県CGハザード
マップでは、本市の13小
学校と6中学校の学校関
連施設が土砂災害警戒区
域に指定されている。具
体的な対応方針はどうか
○ 気象情報の発令や気
象状況に応じて安全確保
の観点から休校、授業の
短縮をしている。防災マ
ップを活用した防災教育
を行っていききたい。
○ ハード対策の認識は
どうか

○ 危険な道
路や箇所を子
どもたちが認
識することも
大事だ。土砂
災害が起きる
ようなときに
学校に来させ
ることはない。
○ 土砂災害は、いつ起
こるかわからない。行政
として危険箇所の早急な
対策は学校施設の安全管
理上必要だ。学校側は十
分認識されているか
○ 危険箇所は防災マッ
プで知らせている。
○ 各学校に簡易雨量計
は設置されているのか
○ 把握していない。
指定箇所の学校には

必ず雨量計の設置を望む。
また、防災担当の先生は
状況を認識されているか
○ 防災マップを渡して
いるので当然承知してい
ると思っている。
○ 子どもたちの学校・
園生活の安全確保をお願
いしたいがどうか
○ 各学校の危険度につ
いて徹底したい。



前野 文孝 議員 (かがやき)

安心安全なまちづくりと 地域経済の活性化を



青山 憲司 議員 (ひかり)

都市計画マスタープラン と学校等の防災計画



土砂災害警戒区域に指定されている通学路

市政を問う



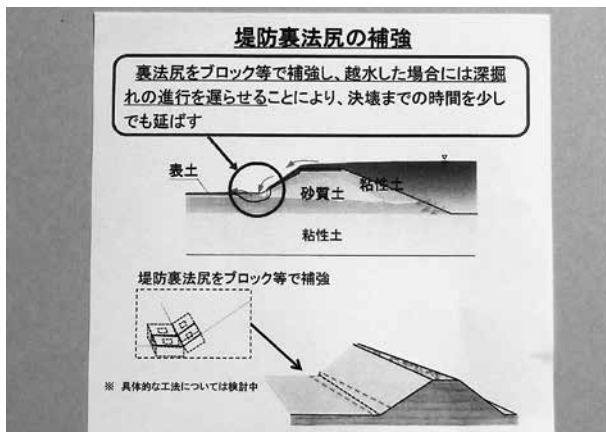
浅田 徹 議員
(かがやき)

円山川の堤防補強と

水防対策は

問 円山川堤防は、大雨での越水時における、のり尻深掘れ等による決壊対策として、裏のり尻面の補強と堤防天端をアスファルト舗装で固めて天端からの崩壊を防ぐ工事を、29年度から着手すると聞いているが、場所等は決定したのか。また、本市は台風23号で堤防決壊を経験しており、優先順位や施工年次の短縮等の働きかけを市はどのように考えているのか

答 越水時に決壊対策としてブロック等の工事を、円山川右岸の田鶴野排水機場付近で1・8 km、出石川合流部付近で1・2 km、奈佐川右岸堤防で円山川合流部付近0・7 kmを10月下旬から年度末完成予定で着手すると聞いている。堤防天端の保護は、日高町西芝地区0・1 kmは施工済み、江原地区0・3 kmは築堤後に施



堤防裏のり尻の補強 (円山川・危機管理型ハード対策)

工予定、城崎町桃島地区0・5 kmは未定と聞いている。また、この事業は、32年度までを用途に緊急に実施される事業と聞いている。市としても機会あるごとに働きかけを行いたい。

問 円山川堤防は、地盤により沈下の度合いも違うため、堤防高の観測とそのデータの共有による低い箇所への土のう積み

等の水防対策も必要と考えるがどうか

答 堤防の沈下調査のため、高さの面的に把握できる航空レーザ測量を今年度実施すると国から聞いている。低い箇所が判

明すれば、土のう積み等は台風接近時にするよりも事前に行うことがより安全で効果的と考えている。国は多くの区間を重要水防箇所位置付けているが、優先箇所を示すようお願いします。消防団や自主防災組織と情報を共有しより安全で効果的な水防活動に取組みたい。



木谷 敏勝 議員
(かがやき)

対話と共感を目指した

基本構想に

問 「不要な人々」という文言は、この基本構想に載せるべきではないと考えるがどうか

答 最終案をまとめる際にもう一度考えたいと思うが、必要だというふうに基本的な思っている。基本構想は目的地とそのルートを示すだけではなくそのルートを阻害するよ



思いきり楽しんで演奏してください！

うな大きな要因について明確に書いておく必要がある。表現はどうなのかまた改めて考えたいと思うが、今の表現のほうが事態を正確に表しているのではないかと聞いている。

問 「今まで敬老の日を行政と一緒に支えてくださった皆さん、ありがとうございました。心から感謝します。ただ、対象者が増えてきているので、より一層の効果的なことを考えるために一年間の

一言言われると受け取り方が違うと思うが。今まで行政と一緒に取組んでもらった方々にまずは感謝を伝え、その上で次のステップへ進むことを強く望むがどうか

答 これまで支えていただいた方々の努力についての感謝をもちろん持っているし敬老の日の意義を否定して

いるわけではない。もっとより良いほうに使う方法があるのではないかと言っているわけでは、お金が惜しくてではないというのを理

問 学校のクラブで音

答 楽器が満足にできない状況にある。必要な楽器を確保し、良好な状態で維持することはできないのか

答 楽器購入を目的とした予算として毎年度3校あ

市政を問う

一般質問



広川 善徳 議員
(公明党豊岡市議員)

自主防災組織で災害時 避難所運営訓練実施を

議していきたい。

文化芸術振興

問 災害時避難所運営マニュアルの自主防災組織への配布と市民周知は

答 簡易版を送付しており、今後説明会を行います。

問 「アートシーズン2017」は昨年とどう違うか

を盛り上げていただいた。今年も市内すべての高校に声をかけ、多くの高校生に参加していただき、昨年以上の賑わいをつくりたい。

問 住民参加の避難所運営訓練実施が必要ではないか。実施状況と必要性は

答 一つの区が実施。それ以外は実施していない。今後、地域コミュニティ組織単位の実施を促進したい。

問 期間、事業数を拡大し、夏・冬の2会期制とする。新規プログラムの特徴は①子どもたちが質の高い文化芸術に触れる機会の充実、②参加体験型のプログラム充実、③他市町との文化交流、④外部の若い人たちに

問 出石出身の書道家で京都を拠点に活躍されている方をこの企画に参入していただけは大変盛り上がると思うが、今後検討できないか

答 今後検討してみたい。

防犯カメラの増設を

問 現在豊岡駅に4台設置してあるが、今後増設は

問 アートシーズン2017に高校部活の書道部、陶芸部などの活躍を

問 今後検討してみたい。

答 犯罪抑止に重点をおくなど警察と意見が一致すれば設置の検討をした

答 頑張っている高校生を応援することはとても大切

問 頑張る高校生！(地元高校生による書道パフォーマンス)

問 学校園での増設も必要だがどうか

答 必要性を感じているので、学校、警察等と協

答 頑張る高校生！(地元高校生による書道パフォーマンス)



頑張る高校生！(地元高校生による書道パフォーマンス)

問 医師不足が続く中、政府の指導により、平成20年豊岡病院組合改革プランを策定し実践してきた。計画より成果を上げているのに大幅赤字予算だ。国の指導は正しかったのか

答 責任者ではないので病院組合で議論されたいが、問題は医療費抑制の方針のもと平均在院日数の短縮、延べ患者の抑制が大きな要因だ。

問 3病院の再編自体は、日高の第一期整備事業終了後、中・長期的課題としている。現段階でコメントできない。

問 但馬の医療機関が示した必要病床数は1438床。兵庫県が示した但馬医療圏構想には平成37年1400床。仮に日高病院が30床になれば66床減で1370床となり必要病床数を大幅に割ることになるのではないかと



建て替えを待つ非耐震の本館(日高医療センター)

問 数も大切だが、パランスのとれた方向に修正していく作業が必要だ。当面の日高医療センターの経営状況や医師の置かれていく状況、また施設の耐震性がないということと建て替えようとしている。その後、中・長期の見直しの中で適切なものは何かという議論がされていく。



奥村 忠俊 議員
(日本共産党・あおぞら豊岡市会議員)

市内3病院は再編でなく、 充実整備が必要だ

問 医師不足が続く中、政府の指導により、平成20年豊岡病院組合改革プランを策定し実践してきた。計画より成果を上げているのに大幅赤字予算だ。国の指導は正しかったのか

問 3病院の再編自体は、日高の第一期整備事業終了後、中・長期的課題としている。現段階でコメントできない。

問 但馬の医療機関が示した必要病床数は1438床。兵庫県が示した但馬医療圏構想には平成37年1400床。仮に日高病院が30床になれば66床減で1370床となり必要病床数を大幅に割ることになるのではないかと

意見書・請願・陳情

意見書

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

全会一致 可決

〔要旨〕

義務教育費国庫負担制度の負担割合が2分の1から3分の1に縮小され、地方交付税に依存する度合いが高まった。

教育予算は未来への先行投資であり、子どもたちがどこで生まれ育ったとしても、等しく良質な教育が受けられることは、憲法の保障するところであり、次の事項について、特段の配慮をされるよう強く要望する。

① 義務教育費国庫負担制度について、制度を堅持すること。

子どもたちと向き合う時間の確保に関する意見書

全会一致 可決

〔要旨〕

学校現場において課題が複雑化・困難化する中で、子どもたちのゆたかな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を確保することが不可欠である。教職員が心にゆとりを持ち、子どもたちと向き合うことは欠かせない。

しかし、義務教育費国庫負担制度の負担割合が縮小され、地方交付税削減の影響、厳しい財政状況などから、自治体において教育予算を確保することは困難になっている。

さらに社会全体として、所得の違いが教育格差につながってきている。日本の教育予算を国全体として、しっかりと確保・拡充させる必要があり、次の事項について、特段の配慮をされるよう強く要望する。

① 「子どもたちと向き合う時間の確保」をはかり、きめの細かい教育の実現のために、少人数学級を推進すること。

② 学校施設整備費、就学援助・奨学金、学校の安全対策など、教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

請願

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する件

みなし採択

提出者

豊岡市教職員組合

執行委員長 藤本 丈永

子どもたちと向き合う時間の確保に関する件

みなし採択

提出者

豊岡市教職員組合

執行委員長 藤本 丈永

以上の2件の請願書は同趣旨の意見書案を先に可決したことにより、みなし採択となりました。

陳情

日高医療センター問題に関する陳情書

不採択

提出者

豊岡市日高町上石16の1

大谷英子ほか3名

〔要旨〕
公立豊岡病院日高医療センターのあり方計画の策定に当たり、地域住民等の要望意見を聴取することを求める。

〔委員長報告要旨〕

委員会において慎重に審査する中、不採択の立場から、「昨年9月、公立豊岡病院組合主催の『地域医療を考えるシンポジウム』において方向性が示され、入院機能を30床残すなど計画変更が行われ、住民との意見交換も行われてきており、本陳情趣旨は概ね達成できたものと理解する。よって本陳情は不採択とせざるを得ない」との意見が出された。

一方、採択の立場から「市民の声が十分に反映されたと思えない。議論も尽くされておらず、本陳情は採択すべきである」との意見が出された。

このため採決を行った結果、賛成少数により不採択とすべきものと決定した。

なお、本会議で、委員長報告に対し、会派「日本共産党・おおぞら豊岡市会議員団」議員より反対討論、会派「かがやき」議員より賛成討論が行われ、起立採決の結果、反対者少数により委員長報告のとおり不採択となった。

郵便局における違法契約に関する陳情書

全会一致 不採択

提出者

〔委員長報告要旨〕

太田垣 徹

保険契約におけるトラブルは、市民の問題であり、市議会の権限は及ばない。よって不採択とせざるを得ない。



常任委員会 視察報告

総務委員会

4月24日～26日

救急救命士の養成に向けた取組み
(救急救命九州研修所)

「プレホスピタルケア」という急病人の病院搬送までの応急手当ての充実を目的に設立された研修所において、人体模型を使用した高度な救護処置を施す処置拡大研修等を視察した。救命士の迅速な動作からは一刻を争う緊張感が伝わってきた。

研修所には、福岡大学、久留米大学などから専任教授(医師)が派遣され全国の救命士の養成が実施されている。本市においても病院と救急現場の連携強化で一層の救命率向上



救急救命九州研修所(福岡県北九州市)

との連携など多くの支援メニューが目についた。さらに九州大学伊都キャンパスの移転による環境の優位性を利用した誘引施策にも積極的に取り組まれ、本市として参考にすべき内容が多くあった。

を願うところである。移住・定住の促進に向けた取組み
(大分県豊後高田市)

豊後高田市は「住みたい田舎」に5年連続でベスト3に選ばれたまちで、子育て支援、空き家バンク、新婚生活応援など多くの移住支援メニューを展開され、昨年度は142世帯(307人)の移住実績を上げている。

糸島市では、ライフステージにおける「子育て期」をターゲットに地域コーディネートに配置、マイホーム取得奨励金制度、銀行との連携など多くの支援メニューが目についた。さらに九州大学伊都キャンパスの移転による環境の優位性を利用した誘引施策にも積極的に取り組まれ、本市として参考にすべき内容が多くあった。

文教民生委員会

5月16日～18日

ICTを活用した教育振興
(北海道千歳市)

タブレット端末や各教室への電子黒板の設置など充実した機器等の整備が行われていた。また、教員の知識や技能の習得のための研修が組織的に行われていた。本市も、魅力のある授業の展開とICTを活用した教育を推進したい。

旭川市中央図書館の運営
(北海道旭川市)

開館時間の9時30分への繰り上げや、飲食コーナーの設置など、本市の図書館との違いを感じた。特に自動車文庫では、2台の車両



自動車文庫。市内55か所を月1回巡回(北海道旭川市)

園内のガイドや体験学習のほか、職員が学校に向く出張授業も行っている。動物園を一つの教材とした命の教育、生涯学習などとの教育連携の取組みに感銘を受けた。

を使い、地域を回り本の貸出しを行っている。大変喜ばれている様子が見られた。本市も市民に親しまれる図書館となるように議論を深めていきたい。

いきいきセンター神楽・神楽保育所複合施設
(北海道旭川市)

高齢者福祉施設と保育所の複合施設であり、野菜の植え付け、収穫本の読み聞かせ等の世代間交流を推進している。これまでの縦割り行政では考えられない複合施設であり、本市においても考慮すべき事例だと感じた。

旭山動物園運営における教育連携
(北海道旭川市)

再生可能エネルギーの取組み
(福島県福島市)

自然再生エネルギー分野で小河川を利用した小水力発電、さらに温泉による蒸気と熱水を利用した発電を視察した。同じ河川水系での発電で、下流に広がる旅館街のエネルギーをまかなおうという「福島でこそ」の意欲と必然性を感じた。

宝島社の「2017年版住みたい田舎ベストランキング」の中の若者世代・子育て世代の両部門で全国1位と評価された街。「突出して悪いことも良いこともない、平均点が評価された。」と担当者は分析している。往々にして抜きん出た事業や取組みが評価されやすいが、平均的な取組みが、結果として、そこに住む住民の幸せとなるのではないかと痛感した。



バイナリー電源16号温泉土湯(福島県福島市)

宇都宮ブランド
(栃木県宇都宮市)

宇都宮市は栃木県の県都である。「住めば愉快だ 宇都宮」をブランドメッセージにアレンジしたシャツ、マスコットの活用、東京圏への情報発信などと、

さらに、デパートを1階に展開し、そのビルの2階以上を市庁舎としていることには驚いたが、市民の利便性からも好評だとのこと。市庁舎と他の利用との併用の一つの事例だといえる。

建設経済委員会

5月17日～19日

特別委員会 視察報告

議会広報特別委員会 7月18日～19日

議会だよりの編集

(和歌山県海南市)

横書きを多く取り入れられていることや、文字の大きさや空間を入れているなど工夫した紙面になっており、見やすく明るい広報紙になっている。表紙写真は、子どもをテーマとし、毎号子どものイベント的なものを掲載している。広報委員会を平成28年より常任委員会化し、市民にとって読みやすいものになろうと毎回進歩している様子がうかがえた。

本市の「議会だより」については、文字数が多く、市民の方には読みづらいのではないかととの感想もいただいた。今後の課題である。

(和歌山県橋本市)

近畿市町村広報紙コンクールで奨励賞を受けている経緯があり、そのノウハウを勉強したいとの思いで視察を



熱心に意見交換をする委員 (和歌山県海南市)

地域公共交通の取組み

(兵庫県赤粟市)

県内2番目の広い面積で交通空白地をなくし、市内一律200円で移動できる交通ネットワークとして、コミュニティバスから路線バスに平成27年11月再編(県内初)した。

さらなる利用促進策の取組みとして、幼稚園等を対象とした出前講座。観光業者とタイアップした1日乗車券の発売等。

また、次の世代にバスを残す取組みとして、バスに乗る習慣(文化)づくりが課題としてあげられている。

(和歌山県紀の川市)

市内を運行する公共交通は、路線バス、コミュニティバス、地域巡回バス、デマンド型乗合タクシーを運行している。

2市共同運行路線は、生活圏を形成しており、買い物、通院、通学利



紀の川ふるぎるぎるの娘の歓迎を受けて (和歌山県紀の川市)

用をカバーしている。運賃差異については、一定の理解を得られている。

利用促進策は、広報紙への年一回無料乗車券の掲載や、一部「フリー降車区間」を設定している。

課題は、地域の要望に応じたバス停が多く、所用時間が長く、利便性が損なわれていることである。

2市とも、地域状況に応じた公共交通のネットワーク化を効率的に進めている。本市も持続可能な地域公共交通ネットワーク化の形成が望まれる。

交通網問題調査特別委員会 7月18日～19日

議会BCP (業務継続計画) 策定

(滋賀県大津市)

二元代表制の趣旨にのっとり、議決機関としての非常時の機能維持に資する次の事を目的として策定された。

①大津市では発災時に市対策本部は設置されるが、議会側が本部に参画していないこと、②通年議会とし、専決をさせないという思いをもって、被災直後でもあっても議会開会ができる状況を維持することである。

防災デジタル無線整備

(京都府南丹市)

4町の合併でできた市で、うち1町で防災アナログ無線が整備されていたことを受け、新市全域でのデジタル防災無線の整備を手掛けた。市域面積は600km²強、世帯数は本市の3分の1ほど。

整備予算は17億5千万ということだが、本市規模で単純に算定すると、莫大な額となる。本市の防災無線デジタル化の所見30億円を考えると、いたしかたない額である。

大津市議会の独自性



大津市議会ではBCP (業務継続計画) を平成26年3月に策定 (滋賀県大津市)

本市担当部署では、デジタル化の内容を検討中であるが、費用と機能とを天秤にかけることとなり、大きな課題であると改めて感じた。

防災対策調査特別委員会 7月18日～19日

各委員会 視察報告

議会運営委員会

7月24日～25日

議会改革の取組み (滋賀県長浜市、岐阜 県可児市)

いずれも議会改革度調査ランキングで上位に位置する議会である。近年、はやり言葉のように言われる議会改革の始まりは、北海道夕張市の破綻で、議会が監視機能を果たせなかったことを受け、襟を正そうと隣の栗山町議会が2006年に制定した議会基本条例。議会改革の柱として全国各地の議会が制定をしている。

長浜市、可児市両市とも、議会基本条例に掲げる内容を検証し、議会のあるべき姿を追求している。それぞれ強く注力されている分野には違いがあるが、共通していることは、議会基本条例制定後、実施検証に当たっては大学研究者との連携や研究会などへの出席を通し、さらなる議



議会改革の先進的な取組みを聴く（滋賀県長浜市）

会改革を推進しているということである。また、二元代表制を強く意識し、議会と執行部との立場を明確にし、市・市民に関する課題・問題に対し、執行部とは別に議会独自の市民の要望・意見を聴く活動を行っている。執行部とのなれ合いを廃して議会の役割を再定義し、公開度を上げて説明責任を果たすなど、活性化のための運営ルールを定めることが重要である。議会と市民との距離感を無くすることが、最大の議会改革であると感じた視察であった。

建設経済委員会 7月26日(水)

ふたつの再生可能エネルギー

木質バイオマス発電所(兵庫県朝来市)

昨年12月に稼働したばかりの施設である。再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用した木質バイオマス発電は、これまで利用されずに放置されていた間伐材等を「発電用燃料」として利用することで、災害防止と、木材価格の下支えとともに新たな収益を生み出すことで林業経営の安定化にもつながるとして、平成24年勉強会からスタートして稼働したものである。

広い敷地には、県内各地から運び込まれた木材が積まれ、見慣れない重機が動き回っていた。20年間の固定価格で木材は1トン6,700円、発電を通して林業の安定化を図るという目標が伝わる事業であり、また近年若者が、林業に多く働くようになったと聞き、二重に嬉しい視察であった。

小水力発電所(兵庫県三木市)

ダムから、計画的に放出される水を利用しており、設備を設置すれば、燃料費のいらない発電所であり、日本の地形に合った再生エネルギーだと再認識した視察であった。



発電の燃料に使われるチップの山(兵庫県朝来市)

文教民生委員会 6月30日(金)

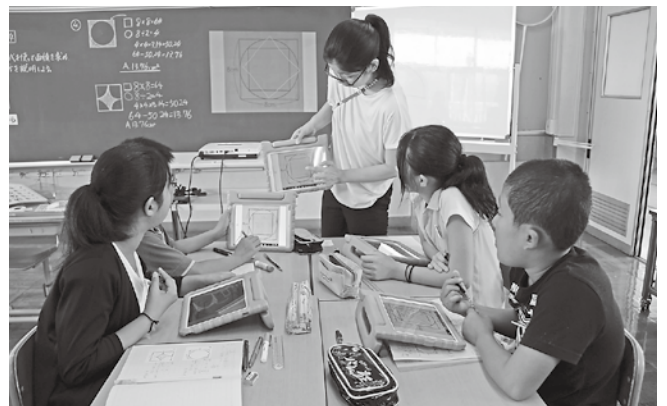
ICTを活用した教育の現状

豊岡市立港東小学校 6年生

ICT機器を活用した、6年生の算数の授業「円の中の図形の面積の求め方を考える」を視察した。

先生が問題の図をスクリーンに表示し、その図がすぐに各児童のタブレットに送られる。児童はまずタブレットでどのように面積を出すのかを各自考え、タブレット上にペンで書きこみ、代表の児童のタブレットの内容をスクリーンに表示させ発表させる。児童が自分の考えを改めて黒板やホワイトボードに書く時間も短縮され、スムーズに授業が展開。児童たちは集中し、先生と児童とのコミュニケーションもしっかりできており、ICT活用によるコミュニケーション不足の心配などはまったく感じられなかった。

児童が課題について考える時間や発表について話し合う時間が長くとれていることは、ICT機器をツールとして活用している効果であると実感した。児童もいきいきと授業を受けていた。今後、さらに効果的なICT活用を期待する。



タブレットを活用した授業

市民団体との懇談会・意見交換会を開催しました！



各地域から集まった15名のお母さんとの懇談会（アイティ7F）

文教民生委員会 7月5日(水)

子育て世代との懇談会

子育て世代との懇談会を開催した。

子育て真っ最中のお母さんたちから日頃感じている「子育て」に関する率直な生の声を聴くことができた。

懇談会中は、お子さんを同じアイティ7階で一時保育。ゆったりとした気持ちで、初めて会ったお母さんたちとの意見交換をすることができた。

本年度からの新しい市の取組みである「ファミリー・サポート・センター事業」と「おやこ支援室」の具体的な事例などを議員が説明。

その後のワークショップでは、さまざまな観点から子育ての悩みや、議会に対しての要望を聞くことができた。

建設経済委員会 6月29日(木)

豊岡鞆協会との懇談会

鞆協会との懇談会を開催した。豊岡市の特産業であり、昨年出荷額が日本一の産地となった業界の鞆生産の歴史、時代の波に突き動かされながら、グローバル化の下、生産を海外に求めた企業の苦労、業界の再編などを経た近年の鞆生産・販売の動向、さらに人材確保など当面する業界のもつ問題などが語られ、課題意識の共有化を図る有意義な懇談となった。



昨年出荷額日本一の豊岡鞆協会との懇談会（豊岡市役所7F）



商工団体との懇談会（豊岡市役所7F）

豊岡商工会議所・

豊岡商工会との懇談会 6月30日(金)

商工会議所ならびに商工会との懇談会を開催した。それぞれの組織の現状や課題の報告があった。特に小売商業は、量販店やチェーン店の進出、後継者不足、事業主の高齢化などで廃業を余儀なくされているなどの意見があった。商店街の維持が困難なことや、商工会議所、商工会の組織率が後退していることなどは委員会としても共通の課題だと痛感した。

議会広報特別委員会 「第30回近畿市町村広報紙セミナー」に初参加!! 7月25日~26日

▼大阪市内で開催された「第30回近畿市町村広報紙セミナー」に、委員会委員2名と事務局を加えた3名が派遣され、広報紙作成のノウハウを学んだ。

▼このセミナー受講は、毎年行われている「近畿市町村広報紙コンクール」に参加するために必要な条件でもあり、今議会だより62号を豊岡市議会として初めて応募する予定である。この取組みにより、第三者の目による客観的な評価を受け、今後の紙面づくりに生かしたいと考えている。

▼両日は、近畿一円から80の地方公共団体の114名もの広報担当者等が参加。講師は、現役の新聞編集責任者などのプロ。市民に読んでもらえる広報紙をどう作るのか等の講義を受講した。編集理念に始まり、特集記事の作り方、校正のテクニック、市民の心をつかむ表紙写真など、多くの具体的なポイントを学ぶことができた。

特に「読む義務は市民側にはない!」という言葉を通して、いかに親しみをもって手に取ってもらえる広報を作るか、大変参考になった。来年も引き続き委員会として参加するべきだと強く感じた。




読み手に届く文章の書き方について学ぶ（毎日インテシオビル）

3月定例会の委員会審査における 委員会意見と当局回答


敬老会予算

市長から30年度以降、各区等への敬老会開催の補助金は予算化しない、との発言があったが、多くの区等で長年、高齢者の憩いの場となり、楽しみにされている。敬老会事業の実施に大きな手助けとなっているため、当該補助金の現状を十分に検証し、再度、検討を図られることを強く要望する。
(文教民生委員会)

 29年度で敬老会補助金を廃止する方針だが、現在各区で実施されている敬老会事業を否定するものではない。他に有効な事業実施も可能となるよう、用途を限定せずにコミュニティに交付することを選択肢の柱とするが、他にも有効な活用方法がないかも併せて検討していきたい。
(コミュニティ政策課・高年介護課)


1～2月豪雪被害への支援

大きな被害を受けた農業への補償等は支援が行われようとしているが、他産業への影響も甚大であり、JRを含む公共交通の不通等による観光客のキャンセル等の影響についても、支援策および再発防止策の検討を求める。
(建設経済委員会)

 不測の事態が生じた場合には、公共交通機関等の交通事業者から運行情報を収集し、各観光協会を通じて関係者への情報提供に努めるとともに、代替ルートの案内対応など関係機関との連携に努めていきたい。
(大交流課)


文教施設の見直し

図書館をはじめ、植村直己冒険館等の施設の見直しを検討中とのことだが、多くの市民が利用可能な施設整備に重点をおき、魅力ある施設が実現できるよう努められたい。(文教民生委員会)

 図書館については、図書館の役割を堅持しつつ、市民にとってより身近で利用価値のある場所となるように設備(空調・照明)改修と談話室の整備を予定している。
また、植村直己冒険館については、将来の指定管理者と一緒に、ソフトやプログラム、施設改修などを考え、市民により愛される施設を目指すため、本年度はパートナー候補者やパートナーの条件を整理する調査を開始する。
(生涯学習課)

民泊の運用

無秩序な推進が行われることは、ホテル・旅館などの宿泊業のみならず観光関連産業にまで大きな影響を与える一方で、農家体験等の地域活性化の一つの手法として期待できる。民泊の法案は「住宅宿泊事業法」として国会にて審議中である。市としても早急に検討を行い基本方針を定めて、国や県に対し地域の実情に応じた運用ができるよう働きかけられたい。
(建設経済委員会)

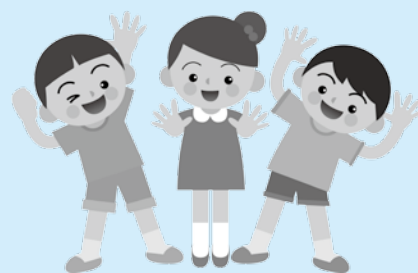
 民泊新法の導入にあたり、区長会や観光団体等から広く意見聴取を行う予定である。また、現時点では関係法令や政省令等詳細が明らかでないことから、国の動向も注視しながら、今後、市としてどのような運用が可能かを、県と緊密に連携した形で検討していく。
(大交流課)

基本構想審査特別委員会を設置

閉会中の継続審査を進めています!!

6月議会で市長から第90号議案「豊岡市基本構想の策定について」が提案された。これは現在の豊岡市基本構想の計画期間終了に伴い、新たに今後12年間にわたる目指すまちの姿を描き、今後のまちづくりの指針となる新たな基本構想を策定しようとするものである。

本委員会は、全会派から参加する10人の委員で構成。休会中の継続審査として9月議会での議決に向け、鋭意審査を行っている。現在までに8回の委員会を開催。当局から詳細に説明を受けたうえで論点整理を行いながら、委員会審査の最終段階を迎えている。市民の皆さまにご理解と納得をいただける基本構想となるよう全力で取り組んでいきたい。






その後どうなった?!


ふるさと納税

29年度予算の歳入は、前年度より1億円少ない3億円が計上されている。減額の理由は、高額返礼品による競争激化などによるとのことであるが、コウノトリ野生復帰事業や市民福祉などの事業に充当されており、返礼品の創意工夫や、本市のピーアールに積極的に取り組み、できるだけ多くの納税の確保に努められたい。
(総務委員会)

 総務省は平成29年4月、高額返礼品による競争激化を抑制のため、寄付金額に対する返礼割合を3割以下とするよう自治体に見直しを求めている。より魅力的な市内産品の返礼品の充実と業務の効率化と新聞、雑誌等への広告掲載や、本市出身者への周知による新規寄付者の増加とメール発信等により謝礼品の情報提供など、リピーターの増加を図る取組みを進める。
(政策調整課)


放課後児童クラブ

利用者が100人を超えるクラブが存在している。適切な遊びおよび生活の場の提供と、健全な育成が実現できる施設運営の確保に努められたい。また、人材の確保のため、保育士、放課後児童クラブの指導員等の処遇改善を図り、働きやすい環境づくりに努められたい。
(文教民生委員会)

 利用者が100人近くいるクラブは、市の運営基準に従い、1つのクラブの児童を2クラスに分けて適切な支援が提供できるよう努めている。また、放課後児童クラブ支援員の月額給は、県内でも標準的な水準となっており、今後も市の他職種との均衡にも配慮し、給与改善の検討が必要となれば、関係部署と協議を行う。
(こども育成課)


新しい地域コミュニティ

さまざまな不安が払拭できていないという声を聞く。市当局には、調整等において、地域間のバランスが崩れないよう、積極的なリーダーシップを発揮されたい。
(文教民生委員会)

 新しい地域コミュニティは、住民自治を行うものであり、それぞれの地域事情によって異なった活動がなされるのが当然だと考えている。市がリーダーシップをとるのではなく、各地域コミュニティ組織が地区にあった運営や活動ができるよう、担当職員がフォローを行っていく。
(コミュニティ政策課)


建物や設備等の保守点検業務

前年と同じ業者への業務委託を前提とした事例があるが、本市の公共施設マネジメントの考え方に即した、持続可能で効率的・効果的な委託契約方法の調査・検討に努められたい。
(総務委員会)

 公共施設マネジメント基本方針において、「公共施設マネジメント3原則」の一つとして、「効率的・効果的な維持管理・運営」を掲げており、施設の保全や保守点検について、より効率的な委託のあり方について検討する。
(財政課)


ファミリー・サポート・センター事業

大きな期待がある一方で不安の声もある。会員同士の相互援助が前提の事業であるが、実施にあたっては、市として、適正なチェック、指導体制づくりに努め、子どもの安心、安全が十分に確保されるよう図られたい。
(文教民生委員会)

 実施にあたっては、子どもの安心、安全を第一に考え、「まかせて会員」の講習に保健師による安全対策・事故防止の項目を組み込むとともに、事故の対処方法の習得のため、消防署における普通救命講習を義務付けている。また、事前打ち合わせの際に、アドバイザーが預かり場所（「まかせて会員」の自宅）の安全確認や留意すべき点の指導を行い、安全に子どもの預かりが行えるよう努める。
(こども育成課)

子どものいじめ問題

定期的にいじめアンケートを実施するなど実態の把握と対処に努め、学校園、地域、家庭をあげて子どもたちにしっかりと寄り添い、子どもはみんなで守るという、いじめ撲滅の取組みをさらに強化されたい。
(文教民生委員会)

 本市は、いじめの問題は社会全体で取り組む問題であるという認識のもと、関係機関等と緊密な連携を図りながら、学校と一体となった取組みを進めている。各校では、教職員が未然防止、早期発見・早期対応に努め、取組状況の発信等を通して家庭・地域との連携強化と計画的な研修の実施等により、学校・教師の対応能力向上と組織で対応する体制の強化を図っている。
(こども育成課)

♪サ～サ～ おど～ち～ふ～
はやしにの～って～♪



たじま～とよおか～
よい～と～こ～わ～

(柳まつり！元気いっぱい！！豊岡おどり 子ども連)

議会を傍聴してひと言

▶議会は何となく遠い存在のように感じていたが、実際は市民の生活に寄り添った議論が交わされていることが分かった。また、目先のことだけでなく、数年先の将来を見据えて課題を見つたり対策を練ったりされていることも知った。

(20代女性)

▶市のこと、市民のことを考えた緊張感のある議論がなされているように感じた。市政のチェック機能としても非常に重要な場であることが理解できた。(20代男性)

他にもたくさんのご意見をいただきありがとうございました。皆さまからの貴重な意見を参考にさせていただきながら、今後の議会運営等に生かしていきたいと存じます。

おめでとうございます

全国市議会議長会から表彰があり、福田議長から次の方に伝達がありました。

全国市議会議長会
議員35年以上表彰

村岡 峰男 議員

全国市議会議長会
議員15年以上表彰

伊藤 仁 議員
広川 善徳 議員



伊藤 仁議員 村岡峰男議員 広川善徳議員 福田嗣久議長

9月定例会の日程(予定)

開 会	9月1日(金)	※会議の日程は予定です。
一般質疑・質問	9月11日(月) ～14日(木)	※本会議、委員会とも午前9時30分開会(ただし、9月14日(木)の予算決算委員会は、本会議(一般質疑・質問)散会後に開会)
委員会審査 (予算決算委員会)	9月14日(木)・ 26日(火)	※本会議は市役所議場で開催されます。是非、傍聴へお越しください。
委員会等審査 (常任委員会・分科会)	9月19日(火)・ 20日(水)	※一時保育もありますので、希望される方は1週間前までにお申し込みください。(無料)
委員会審査 (特別委員会)	9月26日(火)	申込先 豊岡市議会事務局 ☎0796-23-1119
閉 会	9月29日(金)	



議会広報特別委員会

委員長 伊賀村 善徳
副委員長 浅川 徹
委員 奥村 俊
委員 伊賀村 善徳
委員 浅川 徹
委員 奥村 俊
委員 伊賀村 善徳
委員 浅川 徹
委員 奥村 俊
委員 伊賀村 善徳
委員 浅川 徹
委員 奥村 俊

編集後記

▼市議会では、議会だより、市議会ホームページでの会議録の検索、議会のインターネット中継・録画など、市議会の活動が少しでも市民の皆さまの身近なものとなるよう、議員一同、日々研鑽しております。議会だよりおよび議会中継・録画などを見られてのご感想、ご意見を是非お寄せください。議会だよりを通じて、市民の皆さまへ「開かれた議会」「わかりやすい議会」を目指し、市民の皆さまと議会との架け橋となる広報紙づくりにも今後も努力してまいります。

(しまぎ)

▼「夏だ！海だ！お祭りだ！」真つ黒に日焼けした子どもたちが大きな声で砂浜を走りまわっています。浴衣を着て綿菓子を持って家族で花火を観ています。楽しい夏、真つ只中です。

▼議員は夏でも会議や視察が目白押しです。クールビズでノーネクタイではありますが夏らしいフランクなスタイルには程遠い気がします。

▼常に私たちは地域や市民と共にあるスタンスを忘れず、直面するさまざまな地域の課題や地方創生への道を探ってまいりたいと思います。

(つばさ)